

かわらばん すまいるハウス

2025-5-6

vol.
306

発行
有限会社
大和久建築
TEL 0475 (22) 4148
茂原市高師 4 7 6

以前よりも多発している観のある無差別殺傷事件。「誰でもいいから…」と言いながら、被害に遭うのは殆どが高齢者や女性・子供という社会的弱者。心の歪を生み出しているものの一つに、一層深まりつつある格差社会の構図も挙げられるでしょう。

☆今月の一言【禁断の木の实】一度始めてしまうとやめられなくなってしまうので、してはいけないとされる魅惑的な快楽のたとえ。スマートフォン依存症という言葉をよく耳にしますが、オンライン賭博はもとよりSNS全般にその傾向はありそうです。

なこれ おもしろ受注館

旧来の和風建築では木材形状そのものを活かしたものが数あり、今でも丸太柱や丸桁（「まるげた」または「がぎょう」）などを化粧材として使用した家を時に見かけます。角材にはない味わいがあるものの加工取付けはなかなか容易ではありません。

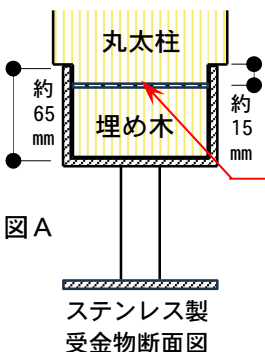
洋風住宅が主流となり大分減ってきたとはいえ、今尚見掛ける玄関先の丸太柱（ポーチ柱）。木材が露出されているため常に風雨に晒され、著しく柱脚部分が腐食したものをよく見かけます。今回、ここ数年の間に交換修理依頼を受けた3物件を紹介します。

1. T様邸

施工日：2025年1月9日



柱脚はステンレス製受け金具により柱設置。柱根元が腐食し木片が散乱。



角材同士であれば真っすぐ切って簡単に付け合わせられますが、当件は桁・柱共に丸太。真丸ではなく多少楕円状であったり凹凸ありという

ことが、柱頭を桁の型にピタッと突き合わせることを難しくしています。なかなかの至難で腕の見せ所。

柱脚部はステンレス製の受金物（図A）で、深さが約65mm。柱を差し込むには本来その深さ分のジャッキアップを要しますが、瓦屋根で重量物の上、歪による外壁の取り合い（右上写真赤丸）のひび割れ発生等を考えると上げ切ことは危険。そこで図Aのように柱脚端部をあらかじめ埋め木し、接着剤で



埋め木上面に接着剤を盛り上げて布

丸太柱本体と接合するという方法を採用。約15mmの落とし込みとはいえ、※柱頭ホゾ差しの関係もあり実際は45mm以上ジャッキアップしています。水が抜ける構造とはいえ、受け金具には多少雨水が侵入するため、柱脚の腐食が避けられない例は少なくありません。



T様邸交換工事の様子。支柱を取付けジャッキアップし新規柱を設置。



交換完了。既存桁へ取付けの場合、赤丸内の付け合わせ加工は難物。

2. M様邸

施工日：2024年10月12日

左頁T様邸同様、桁も柱も丸太材。付け合わせの難易度はT様邸とほぼ同じながら、玄関底で屋根は小さく軽量の銅板葺き、加えて柱脚のホゾ深さも約20mmなのでジャッキアップは容易。それでも前述※の理由から30mm以上は上げる必要があります。



施工前の様子。桁も柱も丸太。

既存柱の柱脚には腐食防止のため銅板が巻かれて（右上写真）いましたが、実はこれが腐食した最大の要因。銅板被服の上下端をシールしても経年劣化により剥がれてしまい、被服面は日光に当たらないため内部に浸入した雨水は蒸発しにくく、腐食の進行を速めてしまう恐れ大です。もう一点は柱根ホゾ固定のための沓石のホゾ穴（図B）。柱底面と沓石は密着しているようでも多少は雨水が侵入するので雨水が貯まり、ホゾを介して柱底面を侵食させます。

3. やきとりM様

施工日：2022年1月18日

既存は丸桁に角柱なので交換する柱も角材。柱頭の型取り難易度は前2例に比べ若干容易とはいえ2本交換なのでなかなか大変。前2例の丸太同士の柱頭形状は図Cの様ですが、丸桁と角柱ではC図の下写真の通りで、側面が直線



庇柱交換完了。柱は角材

図C 丸太同士では柱頭の付け合わせが丸状



赤丸箇所の柱頭形状

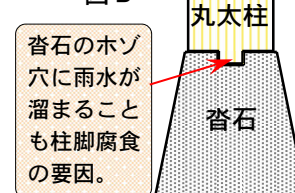
に近い分加工は容易。屋根は銅板葺きで軽量、柱脚性状は図B同様で交換作業はM様邸に準じます。

腐食防止策としては、柱底面に防腐剤を塗布することくらいしか見当たりませんが、化粧柱の場合汚してしまう恐れもあるため塗布には慎重を期します。



腐食防止のはずの根巻き銅板を上によらずと腐食が進行し、黒く変色した部分は触るだけで欠落。

図B



やきとりM様の柱脚柱底面には防腐剤塗布

ざつがくの庭

空前のペットブーム！？で動物を題材にしたTV

番組が実にご増えたと感じるのは気のせい？あなたは犬派それとも猫派それとも…

「犬も歩けば棒に当たる」ということわざ。どちらかと言えば「出歩けば思わぬ幸運に辿り着ける」という意味で使われている方が多いようですが、実は本来の意味は全く正反対。このことわざができた時代、多くの野犬がウロウロし人の生活を脅かしていた。その日暮らしの貧しい人間には吠え回る野犬が何ともしゃくな存在。野犬が歩いていると犬嫌いの人から殴られることもよくあり「何かをしようとすれば何かと災難や不幸にあうことが多い」という喩えがこのことわざの由来だそう。ペットを飼える余裕ができた時代だからこそ、現代風の解釈が生まれたようです。

答え 1. こうし 2. ちょうらく 3. あらがう 4. いながら 5. でんしゃかん

読めますか？

1. 嚙矢
2. 凋落
3. 抗う
4. 坐ら
5. 田舎漢

※田舎者の呼称

次号をお楽しみに